

## 日本一の農家になるために

秋田県男鹿市立男鹿東中学校

三年 鈴木 伯

僕は、農家を継承する四代目として育ってきました。大型農機具の迫力や格好良さに魅了され、保育園の頃から、「農家」になることを夢みてきました。それは誰かに強要されたわけでもなく、自分の周りの環境が自分をそう導いてくれたように思います。

僕の家は、水稲三十五ha、転作大豆十四ha、ハウス野菜のハウレン草を四十一a耕作する大規模経営農家です。

「水を制する者は水稲を制する」という祖父は、稲作大豆作りのプロです。色々な人が聞きに来て的確にアドバイスをしてあげることあります。五月から水稲大豆の刈り取りが終了するまで水田の巡回を欠かしたことがあります。これは祖父が就農したときから変わらぬことです。僕も、祖父のように豊かな知識を身に付け、周りの人から尊敬されるような人になりたいです。祖父は、僕の理想であり、目標とする人です。

祖母は、わが家の一番の働き者だと思います。農業の仕事はもちろん、その他様々な仕事や雑用もこなします。機械を乗りこなせないだけで業務内容としては、祖父とさほど変わらないと思います。祖母は、同年代の人よりもはるかに若々しく体力があり、フットワークが軽いと思います。僕は、祖母のよう

にどんな仕事もていねいにすばやく、キレイにこなせるように頑張りたいと思っています。

父は、農機具のオペレーションが抜群にうまく、手足のように操ることができます。早朝から一日の大半を機械の中で過ごすということも珍しくありません。そして、機械の掃除や整備もていねいにしつかりこなします。僕も、父のように農機具を手足のように操ることができるようになって、圃場はしご一つ一つの条件に合った操作ができるようになりたいと思っています。そして、しっかりと整備もできるように機械にもっと詳しくなりたいです。

母は、ハウス野菜のハウレン草が担当です。どうすれば良質なものができるのか、ということ日々考え、研究しています。毎日同じ工程をふんでも同じ結果が得られないところが難しく、それがまた面白いところだと言っていました。僕も、母のように研究して良質で安全なものを収穫できるように野菜の特長やつきやすい病気、土質について覚えて将来的には販売までする、六次産業化にしたいと思っています。

僕は、「稼げる農家＝安定した農家」になることが目標です。安定した収益をあげるために、生産だけではなく販売もしたいと思っています。自分で作った物を自分で販売することによってより消費者の方々と近い存在になれるます。お互いに顔を見られて人を知ることができる取引きということが、安心につながると思うし、自分のことが消費者に知られることで粗悪な物は売れません。僕は、低農薬であったり、有機栽培だったり付加価値を付けてより安全で良い物を作りたいと思っています。将来的には、加工にも挑戦したいと考えています。オリジナルのパッケージを作成して自分のブランド米として販売したら面白そうだと思うし、生産、加工、販売のすべてを自分のところで行うことが稼げる農家につな

がると思います。そして、ネット販売や海外に向けた販売も行えるように、ネットに関する知識や英語も分かっておかないといけないので、英語の勉強も頑張ろうと思います。現在、両親祖母が人力で行っている除草剤散布や防除などはラジコンやドローンを活用することで効果的にかつ、楽にできるので良いと思っています。昔からある技術を大切にしつつ、スマート農業も取り入れ、いかに少ない労力で効率良くやるか、ということを追求して日本一おいしくて安全な農作物を作る農家になりたいと思っています。

将来、農業の道へ進む僕にとって今の環境はとも恵まれたものです。大型農機具があり、施設が備わっていてさらにはお手本となるプロや先輩たちがいます。今も自分のできる仕事をやっていますが、それによって家族が少しでも楽になってくれたら嬉しいです。今の環境に感謝することを忘れずに、「日本一の農作物を作る農家になる」ために今から農業について学んでいき、一日でも早く家族のために農家の主戦になれるように頑張りたいです。